

南丹市 鈴木清子（90歳）

戦争が始まったのは、私が小学2年生の時でした（昭和12年）。それから、何と（昭和20年の8月迄）長い、長い、戦時中…。

我慢と苦労の日々でした。農家なのにお米がなくて、大根や野菜のたくさん入った雑炊を食べていました。

お腹いっぱいご飯が食べたい…と思ったことも度々でした。

終わり近くなって、毎日空襲警報のサイレンが鳴る…ヒューンという音を立てて B29 が来る…空に白い飛行雲が残っている、近くの山に爆弾が落とされた。大きな音にビックリして、動けなくなったことを、覚えている…。

生きた気持ちはしませんでした。

戦争は絶対にしてはいけません。

あの恐ろしさを伝えていかなければ…。

忘れてはいけないと思っています。